

# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 アルファグループ株式会社  
 コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉岡 伸一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松浦 孝暢

TEL 03-5469-7300

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,017	28.8	87	59.5	84	60.1	38	72.1
29年3月期第1四半期	7,042	6.5	215	2.4	211	4.6	137	0.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 38百万円 (72.1%) 29年3月期第1四半期 137百万円 (0.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	13.61	
29年3月期第1四半期	47.69	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	7,361	3,710	50.4	1,312.87
29年3月期	7,981	3,713	46.5	1,313.87

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,710百万円 29年3月期 3,713百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		15.00	15.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,386	5.0	77	87.0	68	88.4	3	99.2	1.05
通期	25,747	8.5	267	54.9	251	57.7	87	72.4	30.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	3,481,200 株	29年3月期	3,481,200 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	654,883 株	29年3月期	654,883 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	2,826,317 株	29年3月期1Q	2,887,284 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 全般的概況

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)における我が国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いておりますが、一方で国内の消費全般における回復につきましては、未だ力強さに欠ける状況となっております。

このような経済情勢の中、当社グループは、成熟期を迎えた既存事業においては安定した収益基盤の確保に努める一方で、さらなる成長のため新規取り組みに対しての積極的な投資を継続してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高50億17百万円(前年同四半期比28.8%減)、営業利益87百万円(前年同四半期比59.5%減)、経常利益84百万円(前年同四半期比60.1%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円(前年同四半期比72.1%減)となりました。

## ② セグメント情報

## &lt;モバイル事業&gt;

モバイル事業におきましては、スマートフォン販売の適正化に向けた取り組みの促進により販売競争の沈静化が進んだこと、またMVNO(仮想移動体通信事業者)端末の普及によりユーザーの通信端末利用環境がより多様化していることなど、市場は新たな局面を迎えております。

このような事業環境の変化に対応するため、既存の携帯電話販売においてはこれまでの首都圏から出店範囲を拡大したり、MVNO専売ショップの出店を進めていくなど、新たな販売網の確立に努めております。また、新たな取り組みであるスマートフォンアクセサリ専門ショップにつきましては、将来の収益確保を見据えた投資として今期中に合計30店舗の販売網を目指し、積極的な展開を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は32億29百万円(前年同四半期比36.4%減)、営業損失8百万円(前年同四半期は営業利益1億2百万円)となりました。

## &lt;オフィスサプライ事業&gt;

オフィスサプライ事業におきましては、当社保有のコールセンターの活用により「カウネット」の新規顧客獲得と既存登録顧客への継続利用の促進を行うなどの取り組みに注力してまいりました。また、起業時に有用な知識をまとめた情報誌を発刊し、カウネットの顧客獲得に加えて広告収入など、さらなる収益基盤の構築に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16億13百万円(前年同四半期比1.6%減)、営業利益61百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。

## &lt;環境商材事業&gt;

環境商材事業におきましては、ウォーターサーバーで使用するウォーターパックの販売、保有するソーラーパークにおいて発電する電力の販売、LED照明機器の販売・レンタルという3つの商材の取り扱いを主軸に展開しております。

ウォーターパックの販売では、前期において投資として利用顧客の譲受を実施したことにより、堅調に収益を確保しております。また、電力の販売におきましても、新たな投資を控えて売電収入の確保に注力しております。これら2つの商材においては、投資に対して最小限の費用で継続収益を確保するというビジネスモデルを確立しております。

前期より開始したLED照明機器の販売・レンタルにおいては、将来収益の確保のため、契約時点において費用が発生することになるレンタルというスキームを特に積極的に推し進め、様々な業種の法人顧客に対して導入の提案を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億79百万円(前年同四半期比45.8%減)、営業利益33百万円(前年同四半期比35.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は73億61百万円で、前連結会計年度末に比べ6億19百万円の減少となりました。主な増加は、顧客関連資産の増加86百万円等であり、主な減少は、現金及び預金の減少7億75百万円等であります。

負債は36億50百万円で、前連結会計年度末に比べ6億16百万円の減少となりました。主な減少は、未払法人税等の減少2億7百万円、買掛金の減少1億67百万円、長期借入金の減少1億1百万円等であります。

純資産は37億10百万円で、前連結会計年度末に比べ2百万円の減少となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加38百万円等であり、主な減少は、配当金の支払による減少42百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当初予定していた範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成29年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,379,033	1,603,679
受取手形及び売掛金	1,230,404	1,161,928
商品及び製品	1,082,355	1,030,483
原材料及び貯蔵品	651	677
その他	777,735	817,452
貸倒引当金	△10,578	△10,665
流動資産合計	5,459,601	4,603,555
固定資産		
有形固定資産		
土地	149,512	149,512
その他	584,293	633,695
有形固定資産合計	733,806	783,208
無形固定資産		
顧客関連資産	643,371	729,589
その他	6,955	5,964
無形固定資産合計	650,326	735,553
投資その他の資産		
差入保証金	765,662	782,301
その他	766,655	852,025
貸倒引当金	△395,036	△395,076
投資その他の資産合計	1,137,281	1,239,251
固定資産合計	2,521,413	2,758,012
資産合計	7,981,015	7,361,568
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,264,180	1,096,544
短期借入金	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	443,341	425,110
未払法人税等	243,610	36,251
賞与引当金	—	9,609
その他	711,179	587,145
流動負債合計	2,782,310	2,274,660
固定負債		
長期借入金	1,232,954	1,131,097
役員退職慰労引当金	60,974	61,649
その他	191,374	183,574
固定負債合計	1,485,302	1,376,320
負債合計	4,267,613	3,650,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	728,734	728,734
資本剰余金	688,336	688,336
利益剰余金	3,181,470	3,178,655
自己株式	△885,139	△885,139
株主資本合計	3,713,401	3,710,586
純資産合計	3,713,401	3,710,586
負債純資産合計	7,981,015	7,361,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,042,960	5,017,196
売上原価	6,253,711	4,213,674
売上総利益	789,249	803,522
販売費及び一般管理費	573,941	716,320
営業利益	215,308	87,202
営業外収益		
受取利息	691	596
受取手数料	1,541	578
助成金収入	550	584
その他	334	280
営業外収益合計	3,117	2,040
営業外費用		
支払利息	6,453	4,652
その他	392	82
営業外費用合計	6,845	4,734
経常利益	211,579	84,508
特別損失		
固定資産除却損	2,447	2,657
特別損失合計	2,447	2,657
税金等調整前四半期純利益	209,131	81,850
法人税、住民税及び事業税	68,674	33,079
法人税等調整額	2,755	10,316
法人税等合計	71,430	43,395
四半期純利益	137,701	38,455
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,701	38,455



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	137,701	38,455
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	137,701	38,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,701	38,455
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	環境商材 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	5,076,771	1,636,018	330,170	7,042,960	—	7,042,960
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	40	3,893	973	4,906	(4,906)	—
計	5,076,811	1,639,912	331,143	7,047,867	(4,906)	7,042,960
セグメント利益	102,479	60,538	52,290	215,308	—	215,308

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	環境商材 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,229,549	1,608,693	178,953	5,017,196	—	5,017,196
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	4,865	566	5,431	(5,431)	—
計	3,229,549	1,613,558	179,519	5,022,628	(5,431)	5,017,196
セグメント利益 又は損失(△)	△8,547	61,903	33,846	87,202	—	87,202

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「水宅配事業」、「再生可能エネルギー事業」、「環境商材事業」の5つを報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「環境商材事業」の3つに変更しております。この変更は、「水宅配事業」、「再生可能エネルギー事業」、「環境商材事業」の取り扱う対象商材が環境へ配慮したものであるという共通性を有していることから、組織体制の変更を行い、事業セグメント管理の見直しを行った結果、「環境商材事業」セグメントとして統合したためであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。